

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Lung metastases from melanoma: when is surgical treatment warranted?	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ17-8	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Br J Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	83	
	号	5	
	ページ	569-72	
	ISSN ナンバー	10944593	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2000	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Leo F	Department of Thoracic Surgery, European Institute of Oncology, Via Ripamonti 435, Milan,
その他著者 1		Cagini L	
その他著者 2		Rocmans P	
その他著者 3		Cappello M	
その他著者 4		Geel AN	
その他著者 5		Maggi G, et al.	
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	肺遠隔転移切除後の予後に関わる因子を明らかにする
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	肺遠隔転移切除患者 328 例 原発巣の手術から肺転移の手術までの期間 36 月以下、と、多発病巣が悪い予後因子であり、この 2 つがない完全切除患者の 5 年生存率は 29%、どちらか 1 つ：20%、両方ある場合：7%、不完全切除：0% だった。
	結論	原発巣の手術から肺転移の手術までの期間と転移の個数が切除患者の選別の際の簡単で有効な因子である。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	宇原 久
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 原発巣の手術から肺転移の手術までの期間が重要であることを示した貴重な論文である。